

部井久 アダム 勇樹 さん



JAPAN CUP 2018 vs ドイツ
2018年6月16日(土)
東京体育館

世界ランキング1位のドイツに “彗星ジャパン”メンバーとして挑む

2020東京五輪に出場権利を得た日本男子ハンドボール「彗星ジャパン」。世界ランキング1位のドイツを招聘してのジャパンカップは、ランキング22位の日本が今の実力を測り課題を見出す重要大会とのこと。第1試合は6月13日に徳島で行われて24-37で日本の負け。

第2試合は6月16日東京体育館で開催。日本代表最年少メンバーである部井久さんを応援に、会場へ向かった。



部井久さんは中央大学1年生。昨年高校生ながら日本代表に選ばれて話題に。身長に194cm。

ハンドボールのルール

1チーム7人でプレー。うち、1人はゴールキーパーで、他はコートプレーヤー。相手ゴールにシュートして1得点となり、前・後半各30分の試合時間に多く得点したら勝ち。

コートは40m×20m。ゴールから6mの距離に引かれている半円のライン=6mラインにはゴールを守るGKのみ入ることができる。攻撃するチームは、6mラインの外からしかシュートできない。(ハンドボールリーグHPより)



強敵に堂々とゴールも決めた。 世界トップを目指す挑戦は続く

東京体育館には、ハンドボールファンが集結。世界最高峰のプレーを期待する熱気が漂うなか選手が紹介され、前半がスタート。部井久さんはまずベンチで出番を待つ。

序盤は1点を争う展開だったが、徐々にドイツがスピードとパワーで点を重ねていく。20分ほど経って、部井久さんがコートに登場。シュートを放

つのだが、ドイツ選手の壁に阻まれてしまう。しかし終盤、仲間が作ったスペースに鋭いシュートでゴールを決めてくれた！

後半もコートに立った部井久さんは激しい攻防を繰り広げた。パスを回してドイツの隙を作り、自らも再度ゴールを決めた。日本チームは大健闘だ。

試合は22-31でドイツが勝

利したものの、ドイツに対して見せ場を作った日本チームの戦いに温かい拍手が沸いた。徳島での第1試合の課題を修正し、未来を感じる試合を見せてくれた。

部井久さんは大学に籍を置いたまま、7月から“世界最強リーグと言われるフランス1部のセツソン・レンヌ”でプレーすることに。世界への挑戦、応援しています！



チームで見事な連携プレーでゴール！。シュートを打ち、ゴールを決める役割を多く担うLBをポジションとする部井久アダムさん。豪快なシュートがの持ち味なのだそう



試合の後にファンに取り囲まれていた部井久さん。満点のプレーとはいかなくとも、いつも以上の大歓声の前で活躍できたことは自信となったはず

結果

JAPAN CUP 2018 徳島

男子日本代表
VS
ドイツ代表

2018年6月13日 (水) 18:30
徳島市・アスティとくしま

JPN



24 - 37

(11-21, 13-16)

GER



[記事](#)

[スコア](#)

[フォトギャラリー](#)

JAPAN CUP 2018 東京

男子日本代表
VS
ドイツ代表

2018年6月16日 (土) 15:00
東京・東京体育館

JPN



22 - 31

(9-18, 13-13)

GER



[記事](#)

[スコア](#)

